

令和4年度

事務事業評価シート

【市長直轄組織】

駅周辺にぎわい創生課

目 次 【 市長直轄組織 】

	課 名	事業名称	ページ
1	駅周辺にぎわい創生課	石岡駅周辺整備事業	P1
2	駅周辺にぎわい創生課	複合文化施設整備事業	P4

令和4年度 事務事業評価シート

担当部		課名
市長直轄組織		駅周辺にぎわい創生課
予 算	会計	一般会計
	款	土木費
	項	都市計画費
	目	都市計画総務費
主な内訳		需用費、役務費、委託料、工事請負費

事業名	石岡駅周辺整備事業
根拠法令	

1. 事業概要

体系	政策	04 都市基盤・環境	施策としての あるべき 将来の姿	石岡駅周辺は、市の中心拠点として都市機能を集めていくことで、生活利便性を高め、市の玄関口としてにぎわいがあります。
	施策	01 駅周辺の整備		
目的	顧客 (誰を)	石岡駅・バス利用者・中心市街地への来訪者		
	意図 (どのように)	魅力的な空間の創出・利便性の向上		
事業の概要	石岡駅周辺整備事業（第2期計画）に基づき、石岡駅周辺の整備を実施します。石岡駅西口の既存施設改修による多世代交流施設の整備による賑わいの創出や、石岡駅東口のバスターミナル整備による公共交通機能の強化による利便性向上など、複数の施設等を整備することにより、市の魅力向上を図ります。			
事業全体としての課題	石岡駅西口については、駅周辺商店街の衰退も進んでおり、速やかな事業進捗が求められます。また、本事業と同様に石岡駅周辺に建設を検討している複合文化施設との連携が必要です。			
事業としての将来像	長期目標 (基本構想の計画期間)	石岡駅を中心とした整備を進めることで、中心市街地の活性化を目指します。		
	中期目標 (基本計画の計画期間)	石岡駅バスロータリーや西口交流施設の整備により、賑わいや人流を創出します。		

2. 投入量（インプット）

（単位：千円）

年度	令和元年度 (過年度)	令和2年度 (過年度)	令和3年度 (過年度)	令和4年度 (現年度)	
(決算額)	国庫支出金	0	0	106,480	0
	県支出金	0	0	0	0
	地方債	0	0	117,900	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源	170,766	76,447	38,368	0
	決算額計(A)	170,766	76,447	262,748	0
(予算額)	義務的経費	0	0	0	0
	一般行政経費	0	0	0	0
	政策的経費	44,341	39,800	439,144	542,248
	公共施設経費	0	0	0	0
	補正等	45,920	11,887	13,321	0
	前年度から繰越	140,521	35,973	0	186,634
	次年度へ繰越	35,973	0	186,634	0
	予算額計(B)	194,809	87,660	265,831	728,882
執行率(A/B)	87.66%	87.21%	98.84%	0.00%	
正規	職員数(人)	1.50	1.50	2.50	0.00
	人件費(C)	10,902	10,902	18,170	0
会計年度任用職員(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	
フルコスト(A+C)	181,668	87,349	280,918	0	
全体計画 (各年度に実施する 事業計画)	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 駅東道路整備工事 ◇ 駅東照明灯設置工事 	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 西口交流施設実施設計 ◇ 東口都市公園実施設計 ◇ 西口交流施設駐車場基本設計 	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 石岡駅バスロータリー整備 ◇ 西口交流施設の整備 ◇ 西口交流施設駐車場用地測量 ◇ 西口交流施設駐車場地質調査ほか 	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 西口交流施設駐車場の整備 ◇ 東口都市公園造成工事 ◇ 西口交差点の整備ほか 	
財源の種類	都市構造再編集中支援事業交付金【1/2】 公共事業等債				

3. 活動指標（アウトプット）

（コスト単位：千円）

活 動 指 標	指標名 ①		説明等					単位	経費区分
	石岡駅西口の整備事業		事業進捗率（西口交差点の整備、西口交流施設の整備、西口交流施設駐車場の整備、石岡ステーションパーク1階利活用の推進、ポケットパークの整備）					%	政策
	年度		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	目標値(a)		—	40	60	80	100	—	—
	実績値(b)		0	0	0	0	0	0	0
	達成率(b/a)		%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	%	%
	決算額(c)		42,975	0	0	0	0	0	0
	内訳		委託料、工事請負費等						
	コスト	職員数(人)	1.25	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		人件費(d)	9,085	0	0	0	0	0	0
フルコスト(c+d)(f)		52,060	0	0	0	0	0	0	
単位コスト(f/b)									
指標名 ②		説明等					単位	経費区分	
石岡駅東口の整備事業		事業進捗率（石岡駅バスターミナルの整備、東口都市公園の整備）					%	政策	
年度		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	
目標値(a)		—	50	100	100	100	—	—	
実績値(b)		0	0	0	0	0	0	0	
達成率(b/a)		%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	%	%	
決算額(c)		200,802	0	0	0	0	0	0	
内訳		委託料、工事請負費、用地購入等							
コスト	職員数(人)	1.25	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	人件費(d)	9,085	0	0	0	0	0	0	
	フルコスト(c+d)(f)	209,887	0	0	0	0	0	0	
	単位コスト(f/b)								
指標名 ③		説明等					単位	経費区分	
年度		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	
目標値(a)		—	0	0	0	0	0	0	
実績値(b)		0	0	0	0	0	0	0	
達成率(b/a)		%	%	%	%	%	%	%	
決算額(c)		0	0	0	0	0	0	0	
内訳									
コスト	職員数(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	人件費(d)	0	0	0	0	0	0	0	
	フルコスト(c+d)(f)	0	0	0	0	0	0	0	
	単位コスト(f/b)								

4. 成果指標（アウトカム）

成 果 指 標	項目	指標名	指標設定の考え方及び算式				単位	達成年度
	最終目標 ①	歩行者・自転車通行量	1日あたりの石岡駅前通りの歩行者・自転車通行量				人	令和7年度
		年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
		目標値(a)	—	634	684	734	785	
		実績値(b)	584	0	0	0	0	
		達成率(b/a)	—%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	
達成率の評価								
項目	指標名	指標設定の考え方及び算式				単位	達成年度	
最終目標 ②							令和 年度	
	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和 年度		
	目標値(a)	—	0	0	0	0		
	実績値(b)	0	0	0	0	0		
	達成率(b/a)	—%	%	%	%	%		
達成率の評価								

5. 事業評価（事業の点検） ※該当する選択肢の●を選択

適合性・妥当性	上位目標との適合性	事業の目的は、総合計画基本計画で定める基本施策に合致するか。			
		石岡駅周辺整備事業（第2期）として、石岡市中心市街地活性化基本計画を始め、各種計画に基づき実施しています。駅周辺等の充実は、市民生活の向上や産業振興に必要であり、基本施策と合致しています。	● 合致している	○ 検討の余地がある	
	市の基本理念との適合性	将来像の実現のための基本理念に適合した事業展開を行っているか。			
		本事業により石岡市の魅力を高めることに繋がるため、基本理念に適合していると考えられます。	● 適合している	○ 検討の余地がある	
	市の関与の妥当性	市の関与の妥当性があるか。			
		市が整備すべき事業であり、市の関与は妥当です。	● 妥当である	○ 検討の余地がある	
	人口減少対策	人口減少・少子高齢化・関係人口増加の対策として効果がある事業であるか。			
	駅周辺の整備は、市の魅力を高めることが出来ると考えられ、人口減少、関係人口増加に効果があると言えます。また、駅周辺に有用な施設を整備することは少子高齢化に十分に同じく効果があると言えます。	● 効果がある	○ 検討の余地がある	○ 事業の性質上対象とならない	
有効性	成果指標（アウトカム）の達成状況	設定した成果指標（アウトカム）は目標達成に向かっているか。			
		(目標設定初年度であるため、次年度以降に達成状況の点検をします)	○ 達成できている	○ 概ね順調に進捗している	○ 目標に向かっていない
	活動指標（アウトプット）の有効性	事業の実施結果である活動指標（アウトプット）は、事業の成果指標（アウトカム）と有効につながっているか。			
		計画に基づく整備を着実に進めることで、中心市街地の活性化を図ることができ、成果指標である、「1日あたりの石岡駅前通りの歩行者・自転車通行量」の増加に有効につながっているとと言えます。	● 有効につながっている	○ 検討の余地がある	
	課題やニーズを踏まえた事業展開	創意工夫により現状把握を行い、市を取り巻く課題や事業の課題、市民等のニーズを的確にとらえた事業展開を行っているか。			
	事業内容によっては、ワークショップの開催などにより、市民等のニーズの把握を予定しています。その他積極的に課題やニーズを的確に捉えています。	● 行っている	○ 検討の余地がある		
効率性	効果的効率的な事業展開の余地	協働や情報通信技術の活用等により、事業費の削減を含め、より効果的効率的な事業展開の余地があるか。			
		石岡駅周辺整備事業と同様に、石岡駅周辺に整備を検討している複合文化施設整備事業が進んでおり、相互の連携が必要です。より密な連携を図ることで効果的効率的な事業の実施が可能と考えられます。	○ 既に実施している	● 検討の余地がある	○ 検討の余地はない
	活動指標（アウトプット）の効率性	活動指標（アウトプット）はフルコストで評価した場合、適切と言えるか。			
	予算や手法に関して、適切な方法で整備を進めていると言えます。	● 適切である	○ 検討の余地がある		

6. 事業評価（総括評価） ※該当する選択肢の●を選択

事業の成果 (アウトプットやアウトカムを踏まえた事業成果の総括評価)	令和3年度事業の主だったものとして、石岡駅西口整備の西口交流施設、石岡駅東口の石岡駅バスロータリーなどの整備について、最終的には繰越手続となりましたが、概ね順調に整備が進められました。 また、西口交流施設駐車場の用地測量や地質調査など、次年度以降の整備準備について、順調に進めることができました。			
今後の方向性 (事業の方向性の具体的な内容や課題への取組等)	事業の方向性	● 継続実施（変更なし）	○ 見直し検討	○ 事業終了
	今後も着実な駅周辺整備を進めることで、駅周辺自体の賑わい創出を図ることや、駅周辺の生活利便性向上により、中心市街地の活性化を目指し、都市機能の強化による地域拠点の整備を進めます。 令和4年度においては、主だったものとして、石岡駅西口交差点の整備、石岡駅東口都市公園の整備、西口交流施設駐車場の整備、石岡ステーションパーク1階利活用方針の検討などが事業として予定されています。 また、駅周辺に整備を予定している複合文化施設との連携が引き続き課題となってきます。			

令和4年度 事務事業評価シート

担当部		課名
市長直轄組織		駅周辺にぎわい創生課
予 算	会計	一般会計
	款	総務費
	項	総務管理費
	目	複合文化施設整備事業費
主な内訳		需用費、委託料

事業名	複合文化施設整備事業
根拠法令	

1. 事業概要

体系	政策	08 地域・文化	施策としての あるべき 将来の姿	文化芸術活動を行う団体や市民と連携・協働し、本市の歴史や風土が反映された特色のある文化芸術の育成に取り組むことで市民一人ひとりがその担い手であることを認識しています。
	施策	03 文化・芸術の推進		
目的	顧客(誰を)	全市民		
	意図(どのように)	文化・芸術の鑑賞・発表の場とともに、市民交流の拠点として複合文化施設を整備します。		
事業の概要	令和2年3月に閉館した旧市民会館と、施設老朽化が進む市立中央図書館を複合化するとともに、必要とされる機能を加えた形で、新たに複合文化施設を整備します。			
事業全体としての課題	施設整備に際しては、新型コロナ拡大や国際情勢、円安といった社会情勢から建設費用が膨らむことが予想されることから、有効な財源の確保が求められます。			
事業としての将来像	長期目標 (基本構想の計画期間)	複合文化施設を完成させ、運営を開始します。		
	中期目標 (基本計画の計画期間)	施設整備へ向け、事業者を決定し、設計・建設工事に取り掛かります。		

2. 投入量 (インプット)

(単位：千円)

年度		令和元年度 (過年度)	令和2年度 (過年度)	令和3年度 (過年度)	令和4年度 (現年度)
(決算区分)	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源	0	0	22,214	0
	決算額計(A)	0	0	22,214	0
(予算区分)	義務的経費	0	0	0	0
	一般行政経費	0	0	0	0
	政策的経費	0		0	0
	公共施設経費	0	2,000	31,045	4,779
	補正等	0	1,577		0
	前年度から繰越	0	0	3,577	7,838
	次年度へ繰越	0	3,577	7,838	0
	予算額計(B)	0	0	26,784	12,617
執行率(A/B)		%	%	82.94%	0.00%
正規	職員数(人)	0.00	0.10	2.50	0.00
	人件費(C)	0	727	18,170	0
会計年度任用職員(人)		0.00	0.00	0.00	0.00
フルコスト(A+C)		0	727	40,384	0
全体計画 (各年度に実施する 事業計画)			◇基礎調査業務委託	◇基礎調査業務委託(継続)	◇基礎調査業務委託 ◇PPP/PFIアドバイザー業務委託 ◇日影影響調査業務委託
財源の種類					

3. 活動指標（アウトプット）

（コスト単位：千円）

活 動 指 標	指標名 ①		説明等					単位	経費区分	
	複合文化施設整備基本計画の策定		複合文化施設整備基本計画を取りまとめます。					—	政策	
	年度		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	
	目標値(a)		—	1	0	0	0	0	0	
	実績値(b)		0	0	0	0	0	0	0	
	達成率(b/a)		%	0.00%	%	%	%	%	%	
	決算額(c)		0	0	0	0	0	0	0	
	内訳		—							
	コスト	職員数(人)		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		人件費(d)		0	0	0	0	0	0	0
フルコスト(c+d)(f)		0	0	0	0	0	0	0		
単位コスト(f/b)										
指標名 ②		説明等					単位	経費区分		
年度		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度		
目標値(a)		—	0	0	0	0	0	0		
実績値(b)		0	0	0	0	0	0	0		
達成率(b/a)		%	%	%	%	%	%	%		
決算額(c)		0	0	0	0	0	0	0		
内訳		—								
コスト	職員数(人)		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	人件費(d)		0	0	0	0	0	0	0	
	フルコスト(c+d)(f)		0	0	0	0	0	0	0	
	単位コスト(f/b)									
指標名 ③		説明等					単位	経費区分		
年度		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度		
目標値(a)		—	0	0	0	0	0	0		
実績値(b)		0	0	0	0	0	0	0		
達成率(b/a)		%	%	%	%	%	%	%		
決算額(c)		0	0	0	0	0	0	0		
内訳		—								
コスト	職員数(人)		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	人件費(d)		0	0	0	0	0	0	0	
	フルコスト(c+d)(f)		0	0	0	0	0	0	0	
	単位コスト(f/b)									

4. 成果指標（アウトカム）

成 果 指 標	項目	指標名	指標設定の考え方及び算式				単位	達成年度	
	最終目標 ①	複合文化施設の供用開始		複合文化施設の整備完了・運営開始。				—	令和9年度
		年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和9年度		
		目標値(a)	—	0	0	0	1		
		実績値(b)	0	0	0	0	0		
		達成率(b/a)	—%	%	%	%	0.00%		
達成率の評価									
項目	指標名	指標設定の考え方及び算式				単位	達成年度		
最終目標 ②								令和 年度	
	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和 年度			
	目標値(a)	—	0	0	0	0			
	実績値(b)	0	0	0	0	0			
	達成率(b/a)	—%	%	%	%	%			
達成率の評価									

5. 事業評価（事業の点検） ※該当する選択肢の●を選択

適合性・妥当性	上位目標との適合性	事業の目的は、総合計画基本計画で定める基本施策に合致するか。			
		文化芸術の拠点となる施設を整備することで「文化・芸術の推進」に合致しています。	● 合致している	○ 検討の余地がある	
	市の基本理念との適合性	将来像の実現のための基本理念に適合した事業展開を行っているか。			
		本事業は、市の基本理念や各種計画を踏まえた整備基本計画の策定作業を進めており、基本理念を踏まえた事業展開を図っています。	● 適合している	○ 検討の余地がある	
	市の関与の妥当性	市の関与の妥当性があるか。			
		多くの市民が利用する公共施設として整備することから、市の関与が必要です。	● 妥当である	○ 検討の余地がある	
	人口減少対策	人口減少・少子高齢化・関係人口増加の対策として効果がある事業であるか。			
	新たな複合文化施設は、文化・芸術の発表の場であるとともに、市民交流の拠点となる施設を目指すもので、関係人口増加の対策として効果があるものと考えます。	● 効果がある	○ 検討の余地がある	○ 事業の性質上対象とならない	
有効性	成果指標（アウトカム）の達成状況	設定した成果指標（アウトカム）は目標達成に向かっているか。			
		(目標設定初年度であるため、次年度以降に達成状況の点検をします)	○ 達成できている	○ 概ね順調に進捗している	○ 目標に向かっていない
	活動指標（アウトプット）の有効性	事業の実施結果である活動指標（アウトプット）は、事業の成果指標（アウトカム）と有効につながっているか。			
		活動指標として設定している「整備基本計画」の策定は、複合文化施設整備の基本方針を定めたものであり、施設の供用開始という成果指標に有効につながっています。	● 有効につながっている	○ 検討の余地がある	
	課題やニーズを踏まえた事業展開	創意工夫により現状把握を行い、市を取り巻く課題や事業の課題、市民等のニーズを的確にとらえた事業展開を行っているか。			
	利用団体や市民を対象としたアンケートやワークショップを開催することで、市民等のニーズを的確に捉えた事業展開を行ったところ。	● 行っている	○ 検討の余地がある		
効率性	効果的効率的な事業展開の余地	協働や情報通信技術の活用等により、事業費の削減を含め、より効果的効率的な事業展開の余地があるか。			
		施設機能の複合化や民間活力の積極的な導入を検討することにより、効果的効率的な事業展開について検討しています。	○ 既に実施している	● 検討の余地がある	○ 検討の余地はない
	活動指標（アウトプット）の効率性	活動指標（アウトプット）はフルコストで評価した場合、適切と言えるか。			
	民間事業者へ委託しノウハウを活用することで、より効率的な整備基本計画の策定作業を進めています。	● 適切である	○ 検討の余地がある		

6. 事業評価（総括評価） ※該当する選択肢の●を選択

事業の成果 (アウトプットやアウトカムを踏まえた事業成果の総括評価)	令和2年3月に閉館した旧市民会館と施設老朽化が進む市立中央図書館を核とする複合文化施設の整備へ向けて整備基本計画の策定作業を進めてきました。			
今後の方向性 (事業の方向性の具体的な内容や課題への取組等)	事業の方向性	● 継続実施（変更なし）	○ 見直し検討	○ 事業終了
	財源や建設予定地等、さらなる調整が必要であることから令和3年度中における整備基本計画の完成はできませんでしたが、早急な施設整備が求められていることから、速やかな整備基本計画策定完了を目指して取り組みます。			